

資料 2

1 「持続可能な社会づくり」の構成概念（例）

①人を取り巻く環境（自然・文化・社会・経済など）に関する概念	I 多様性 いろいろある	自然・文化・社会・経済は、起源・性質・状態などが異なる多種多様な事物（ものごと）から成り立ち、それらの中では多種多様な現象（出来事）が起きていること。 ※多様性を尊重し、事物・現象を多面的に見たり考えたりすることが大切である。
	II 相互性 関わり合っている	自然・文化・社会・経済は、互いに働き掛け合い、それらの中では物質やエネルギーが移動・循環したり、情報が伝達・流通したりしていること。 ※人はさまざまなシステムとのつながりを持ち、更の中で人と人との関わり合っていることを認識することが大切である。
	III 有限性 限りがある	自然・文化・社会・経済は、有限の環境要因や資源（物質やエネルギー）に支えられながら、不可逆的に変化していること。 ※有限の資源を将来世代のために有効に使用していくことが求められ、有限の資源に支えられている社会の発展には限界があることを認識することが大切である。
②人（集団・地域・社会・国など）の意志や行動に関する概念	IV 公平性 一人一人大切に	持続可能な社会は、基本的な権利の保障や自然等からの恩恵の享受などが、地域や世代をわたって公平・公正・平等であることを基盤にしていること。 ※人権や生命が尊重され、他者を犠牲にすることなく、権利の保障や恩恵の享受が公平であることが必要であり、これらは地域や国を超え、世代をわたって保持されることが大切である。
	V 連携性 力を合わせて	持続可能な社会は、多様な主体が状況や相互関係などに応じて順応・調査し、互いに連携・協力することにより構築されること。 ※意見の異なる場合や利害が対立する場合などにおいても、その状況にしたがって順応したり、寛容な態度で調和を図ったりしながら、互いに協力して問題を解決することが大切である。
	VI 責任性 責任をもって	持続可能な社会は、多様な主体が将来像に対する責任あるビジョンをもち、それに向かって変容・変革することにより構築されること。 ※現状を合理的・客観的に把握した上で意志決定し、望ましい将来像に対する責任あるビジョンをもつことが大切である。

2 ESDの視点に立った学習指導で重視する能力・態度（例）

①批判的に考える力 《批判》	合理的、客観的な情報や公平な判断に基づいて本質を見抜き、物事を思慮深く、建設的、協調的、代替的に思考・判断する力
②未来像を予測して 計画を立てる《未 来》	過去や現在に基づき、あるべき未来像（ビジョン）を予想・予測・期待し、それを他者と共有しながら、物事を計画する力。
③多面的、総合的に考 える力《多面》	人・もの・こと・社会・自然などのつながり・関わり・広がり（システム）を理解し、それらを多面的、総合的に考える力。
④コミュニケーション を行う力《伝達》	自分の気持ちや考えを伝えるとともに、他者の気持ちや考えを尊重し、積極的にコミュニケーションを行う力。
⑤他者と協力する態 度《協力》	他者の立場に立ち、他者の考えや行動に共感するとともに、他者と協力・協同して物事を進めようとする態度。
⑥つながりを尊重す る態度《関連》	人・もの・こと・社会・自然などと自分のつながり・関わりに関心を持ち、それらを尊重し大切にしようとする態度。
⑦進んで参加する態 度《参加》	集団や社会における自分の発言や行動に責任を持ち、自分の役割を踏まえた上で、物事に自主的・主体的に参加しようとする態度。

※出典：表1、2ともに国立教育施策研究所「学校における持続可能な発展のための教育（ESD）に関する研究〔最終報告書〕」より抜粋

3 人権尊重の教育の視点（あま市）

- ① 基礎学力の向上・・・基礎学力を培い、主体的に学ぶことのできる意欲や態度を育成する。
- ② 自己表現力の育成・・・自分の考えをまとめ、分かりやすく表現し伝える力や、相手の考えを共感的に受容し対応する力を育てる。
- ③ 主体的な態度の確立・・・強い意志と自主自立の精神を養い、よりよく生きようとする主体的な態度を育成する。
- ④ 人間関係能力の育成・・・だれとでも公平に接し、互いの個性や立場、考え方の違いを認め合い、よりよい人間関係を築くことができる力を育てる。
- ⑤ 客観的な認識の育成・・・人権問題に対する正しい認識と理解を深め、いろいろな観点から物事を深く広く考え、その本質を追究しようとする姿勢や真実を見抜く目を育てる。
- ⑥ 強い正義感の育成・・・利己的・排他的な考えに捕らわれない強い正義感を育成する。
- ⑦ 公正な判断力の育成・・・科学的・合理的な見方・考え方を身に付け、人間や社会のあるべき姿を追究しようとする姿勢を育て、不正や差別を許さない公正な判断力を養う。
- ⑧ 共生の精神の育成・・・人と人とのつながりを大切にする中で、一人一人が個性をもったかけがえのない存在であることに気付くことができ、互いを尊重し合い認め合って、よりよく生きていこうとする実践的な行動力を養う。